

日本小児科学会小児医療委員会主催

第11回小児在宅医療実技講習会報告

開催日時：2017年6月18日

開催場所：香川大学医学部附属病院 臨床教育開発棟・臨床講義棟
香川県木田郡三木町池戸1750-1

参加費：6,000円（テキスト，昼食代込み）

参加者数：59人（定員60名，当日欠席1名）

主催：日本小児科学会

共催：香川大学医学部小児科学講座

後援：赤ちゃん成育ネットワーク，新生児医療連絡会，日本小児在宅医療支援研究会，
中国四国小児科連絡協議会，香川県小児科医会，香川県医師会，日本小児科学会
香川地方会，香川県小児保健協会，香川県看護協会，四国新生児医療研究会

概要：日本小児科学会が毎年実施している小児在宅医療の基礎知識と基本技術の習得を目的とした講習会。今回は四国で初開催となった。講義と実習人形による実習，人工呼吸器，排痰補助装置などの体験学習を行った。

プログラム内容：

1. プリーフィング：安田真之（香川大学医学部附属病院）
2. 開会の挨拶：齋藤伸治（日本小児科学会理事・小児医療委員会担当）
3. 講義「香川県の重症心身障害児（者）の現状」：難波正則（かがわ総合リハビリテーションセンター：香川）
4. 講義「NICU退院から在宅への連携」「在宅酸素療法（HOT）の実際」：中田裕生（高知医療センター：高知）
5. 講義「胃瘻の管理」：田中彩（香川大学医学部小児成育外科：香川）
6. 実習「在宅酸素」，「胃瘻」
7. 講義「成人と小児在宅医療の相違」：菊本健一（藤井クリニック：岡山）
8. 講義「在宅人工呼吸器ケアの実際」：渡部晋一（倉敷中央病院：岡山）
9. 講義「小児の気管切開の実際」：岩村喜信（四国こどもとおとなの医療センター：香川）
10. 実習「在宅人工呼吸ケア」，「気管切開カニューレ」
11. 特別講演「地域の在宅医療のコーディネートの実際」：矢野喜昭（愛媛県立子ども療育センター：愛媛）
12. 閉会の挨拶：日下隆（香川大学医学部小児科学講座 教授）

参加者内訳：

（都道府県別） 香川県23名，香川県外四国19名（愛媛12名，徳島4名，高知3名），中国11名（広島6名，岡山3名，山口2名），中国四国以外6名（長野1名，埼玉1名，東京1名，福岡2名，鹿児島1名）。

（職種別） 医師31名，歯科医師1名，看護師26名，介護福祉士1名。

スタッフ内訳：講師7名，香川大学小児科14名（教授1名，講師1名，看護師10名，事務2名），香川大学小児外科3名（チューター3名；講師1名と重複あり），日本小児科学会小児医療委員会8名（理事1名，委員チューター4名；講師1名と重複あり，次回開催予定委員1名，事務2名），カルガモの家1名（チューター1名）。

アンケート結果：チューター等を含む67名から回答があり，感想として「とてもよかった」42名，「まあまあよかった」21名，継続について「ぜひ続けてほしい」58名，「できたら続けてほしい」5名との回答を得た。

まとめ：これまでは日本小児科学会小児医療委員の勤務都道府県で開催されていたが，今回，四国初開催のみならず，委員のいない県での初開催であった。この研修会をきっかけとして，今後，四国において小児在宅医療が発展していくことが予想され，本事業の目的は達成されたと思われる。また準備から開催までの経緯も含め，日本小児科学会としてこの事業を継続していく上での方向性を見いだすためにも意義ある講習会となった。